

国立大学法人東京藝術大学、ジンジャーの導入により、勤怠管理を効率化し、教職員がより働きやすい環境づくりを推進

jinjer株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長CEO：富永 健）が提供する、クラウド型勤怠管理システム「ジンジャー勤怠」を、国立大学法人東京藝術大学（東京都台東区、学長：日比野 克彦、以下「東京藝術大学」）へ導入したことをお知らせします。



「ジンジャー」導入の背景

「ジンジャー」導入前、東京藝術大学では出勤簿とExcelを用いた勤怠管理を行っていました。勤怠情報はすべて手作業で集計していたことから、膨大な業務時間と、手作業による入力ミスといった課題を抱えていました。

このような状況を踏まえて、業務効率化と勤怠情報の正確な把握を目的として、クラウドシステムへの移行を検討していました。システム選定にあたっては、教職員の誰もが操作できるような「直感的な操作性」を重要視していました。また、カスタマイズ性の高さ、サポート体制の充実、セキュリティ面の強固さ、法令対応といった観点も総合的に評価した結果、「ジンジャー」の導入に至りました。

「ジンジャー」導入後、東京藝術大学は、勤怠管理業務の効率化を図るとともに、教職員がより働きやすい環境づくりを推進します。

▶導入システム

・ジンジャー勤怠

<https://hcm-jinjer.com/kintai/>

国立大学法人東京藝術大学について

東京藝術大学は、日本で唯一の国立総合芸術大学として、1887年に創設された東京美術学校および東京音楽学校を前身とし、1949年に設立されました。美術・音楽・映像・芸術学といった多様な領域において、国内外で活躍する数多くの芸術家や研究者を輩出しています。芸術における専門的かつ高度な教育・研究を通じて、創造性豊かな人材の育成と、文化芸術の振興に貢献し続けています。

▶企業URL：<https://www.geidai.ac.jp/>

クラウド型人事労務システム「ジンジャー」について

ジンジャーは、「正しい人事データ」を収集・管理・活用できる人事労務システムです。

人事労務、勤怠管理、給与計算、人事評価、eラーニング、データ分析など、人事業務を幅広くカバーするアプリケーションと、そのすべてと連動する柔軟な統合型データベースを持つジンジャーだからこそ、人事データを単なる記録ではなく、組織の成長を支える資産として活用することを可能にします。ジンジャーは、企業の「正しい人事データ」を構築し、人事労務業務の効率化を実現すること、そして組織の意思決定の質とスピードを向上することを支援します。

正しい人事データで、組織の"勘"を"確信"に変える。

クラウド型人事労務システム「ジンジャー」

<https://hcm-jinjer.com/>

会社概要

会社名：jinjer株式会社

所在地：東京都新宿区西新宿 6-11-3 WeWork Dタワー西新宿

代表者：代表取締役社長CEO 富永 健

URL：<https://jinjer.co.jp/>

jinjer株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/89626